

2020 年度春季大会の告示

I. 大会の案内

1. 期 日

2020 年 5 月 19 日（火）～23 日（土）

2. 会 場

カルッツかわさき

〒210-0011 神奈川県川崎市川崎区富士見 1-1-4

TEL: 044-222-5211

<http://culttz.city.kawasaki.jp/>

3. 研究発表

口頭及びポスター形式で行われます。研究発表の詳細につきましては下記「IV. 研究発表要領」をご参照下さい。

4. 大会日程

大会は以下の日程で行われる予定です。

第 1 日（5 月 19 日）

午後：口頭，ポスター

第 2 日（5 月 20 日）

午前：口頭，ポスター

午後：総会，授賞式，受賞記念講演，懇親会

第 3 日（5 月 21 日）

午前：口頭，ポスター

午後：口頭

第 4 日（5 月 22 日）

午前：口頭

午後：口頭，公開気象講演会

第 5 日（5 月 23 日）

午前：ジュニアセッション

5. ジュニアセッション

大会第 5 日（5 月 23 日）に，気象庁講堂（東京都千代田区）にて開催予定です。

6. 懇親会

大会第 2 日（5 月 20 日）の夕刻（18:50～を予定）に，麒麟ビール横浜工場（生麦）にて開催予定です。

なお本大会の懇親会は，従来とは異なり，前納受付のみになります。当日受付はございませんので，ご注意ください。懇親会参加者の大会会場と懇親会会場との往復は，全員貸切バスにご乗車頂けます。申込者数が定員に達した際には，申込を締め切ります。

※開始予定時刻は変更となる場合があります。

麒麟ビール横浜工場

<https://www.kirin.co.jp/entertainment/factory/yokohama/restaurant/beerport.html>

7. 大会ウェブサイト

本大会用の大会ウェブサイトを開設しています。大会参加手続き，講演申込み受付，大会プログラム，大会発表規程などの詳細につきましては，こちらをご参照下さい。URL 等につきましては，気象学会ホームページ (<https://www.metsoc.jp/>) をご参照下さい。

II. 大会参加手続き

1. 講演を行う場合の参加申込方法

本大会告示の後に掲載した「日本気象学会 大会発表規程」に従って講演の申し込みを行って下さい。

原則として大会ウェブサイト上からオンラインで行って下さい。オンラインで大会予稿原稿を送付で

きない場合や，クレジットカードによるオンライン決済ができない場合など，止むを得ない事情がある場合は，電子メールによる申込を受け付けます。

なお，大会参加登録，参加費・投稿料支払済みであることを講演申込資格とさせていただきますのでご注

意下さい。また、非会員の講演申込は専門分科会に限定していますのでご注意ください（VI. 非会員、団体会員の大会講演について）。

1.1 オンラインによる申込

- ・締切：2020年2月4日（火）15時（日本時間）
- ・大会ウェブサイト参照し、指示に従って申し込みをして下さい。
- ・大会ウェブサイト上で最初に個人情報とID・パスワードの登録を行います（前回のID・パスワードはそのまま利用することはできません。お手数ですが、改めて個人情報とID・パスワードの登録を行ってください）。このIDとパスワードによって登録システムにログインし、大会参加登録・講演申込・大会予稿送付・参加費決済などを行います。
- ・個人情報とID・パスワードの登録は講演者本人が行ってください。申込締切後、プログラム編成を支障なく進めるために、登録された個人情報は講演者本人のものであることが必要です。また、一つのIDで、講演者の異なる2件の講演申込を行うことは控えてください。ご協力をお願いします。
- ・事前に郵送で大会参加票と大会案内冊子を届ける予定です。登録の際には、郵送物を受け取る事が出来る住所（必要な場合は部署名まで）を記入してください。
- ・講演申込の前に、予め大会参加登録と参加費・投稿料の払込（クレジットカード決済）を行ってください。大会参加登録と参加費・投稿料の決済が行われていない場合、講演申込は受け付けられません。
- ・オンライン決済の際には、個人情報登録者本人以外の名義のクレジットカードも使用可能です。
- ・大会予稿原稿もウェブサイトよりご送付下さい。ファイル形式はPDF（容量の上限は1MB）に限ります。
- ・大会予稿原稿を投稿する際には、ウェブサイト上で著作権委譲に同意する必要があります。
- ・講演に関する要望がある場合は所定の欄に記入して下さい。要望事項は、プログラム編成時に可能な限り考慮するように努めますが、諸事情により要望に沿えない場合があるのでご了承下さい。なお、口頭発表の発表日時の希望は原則として受け付けません。また個別の要望についての回答は致

しませんので、併せてご承知おき下さい。

- ・講演申込締切（2月4日（火）15時）までは、ウェブサイト上において、一旦申込んだ講演申込の登録内容の修正や大会予稿原稿の差し替えなどを行うことができます。ただし講演のキャンセルはできません。
- ・締切後の講演申込や大会予稿原稿の差し替え等は受け付けません。

1.2 電子メールによる申込方法【事務負担軽減のため、なるべくオンライン申込をご利用下さい】

- ・締切：2020年1月28日（火）
（オンライン申込に比べて締切日が1週間早くなっています。ご注意ください。）
- ・以下の4点を講演企画委員会事務局（下記）まで電子メールにてお送り下さい。
 - ① 大会予稿原稿（PDF形式）
 - ② 講演者氏名（漢字、ふりがな、ローマ字）、所属、所属略称、会員番号（非会員の場合は「非会員」と明記）、発表形式、連絡先（住所・電話番号・E-mailアドレス）、講演題目、主・副キーワード、投稿料種別（投稿料A／投稿料B）、懇親会（参加／不参加）、その他必要事項を書いたもの（様式は自由）
 - ③ 郵便振替払込受領証のコピー（次項参照）
 - ④ 全ての著者のサインを記載した著作権委譲承諾書（フォーマットは以下に掲載）
https://www.metsoc.jp/E/msj_copyright.pdf
- 送付先：kouenkikaku2020s@mri-jma.go.jp
（件名に「講演申込2020s」と明記して下さい。）
- ・講演申込の前に、以下の要領に従って郵便振替によって参加費・投稿料を納入して下さい。
 - －口座番号は「00130-3-5958」、
 - 加入者名は「日本気象学会」です。
 - －「通信欄」に以下の項目を記入して下さい。
 - ① 「2020年度春季大会参加申込」と明記
 - ② 会員番号（非会員の場合は「非会員」と明記）
 - ③ 投稿料種別（投稿料Aまたは投稿料B）
 - ④ 参加費・投稿料金額
 - ⑤ 懇親会費金額
 - ⑥ 合計金額
 - －「払込人住所氏名」の欄に、住所・氏名・電話番号をもれなく記入して下さい。

ー払込料金は本人負担でお願いします。

- ・事前に郵送で大会参加票と大会案内冊子を届ける予定です。上記の住所記入の際には、郵送物を受け取ることが出来る住所（必要な場合は部署名まで）を記入してください。

1.3 講演のキャンセルについて

- ・講演申込後は、講演のキャンセルは原則として受け付けられません。止むを得ず大会参加や発表を取り止める場合でも、すでに支払われた参加費・投稿料・懇親会費は返却しませんのでご注意ください。
- ・講演者の都合が悪くなった場合の代理発表につきましては、柔軟に対応いたしますので講演企画委員会（kouenrikaku2020s@mri-jma.go.jp）までご相談下さい。ただし、非会員による代理発表は認められません。

2. 講演をしない（聴講のみ）場合の参加手続き

以下のいずれかの方法で参加費等を納入して下さい。事務負担軽減のため、なるべくオンライン（大会ウェブサイト）による事前登録をご利用下さい。

2.1 オンラインによる申込

2020年3月31日（火）までに大会ウェブサイトに参加登録し、参加費を払い込んで下さい（クレジットカード決済のみ）。期日までに参加費の払い込みが済まされない場合は、参加登録は無効となります。

事前に郵送で大会参加票、領収書および大会案内冊子等を送付する予定です。登録の際には、郵送物を受け取ることが出来る住所（必要な場合は部署名まで）を記入してください。

2.2 郵便振替による申込方法【事務負担軽減のため、なるべくオンライン申込をご利用下さい】

- ・2020年3月24日（火）までに、郵便振替で参加費を払い込んで下さい。
 - ー口座番号は「00130-3-5958」、加入者名は「日本気象学会」です。
 - ー「通信欄」に以下の項目を記入して下さい。
 - ①「2020年度春季大会参加申込」と明記
 - ②会員番号（非会員の場合は「非会員」と明記）
 - ③参加費金額

④懇親会費金額

⑤合計金額

- ー「払込人住所氏名」の欄に、住所・氏名（漢字、ふりがな、ローマ字）・電話番号をもれなく記入して下さい。

ー払込料金は本人負担でお願いします。

- ー事前に郵送で大会参加票、領収証および大会案内冊子を送付する予定です。上記の住所記入の際には、郵送物を受け取ることが出来る住所（必要な場合は部署名まで）を記入してください。

2.3 大会当日に会場で申込

当日会場で参加登録をして、参加費を現金で支払って下さい（当日料金は前納と比べて割高となっていますのでご注意ください）。

3. 参加費、投稿料、懇親会費

3.1 大会参加費、投稿料

- ・参加費と投稿料に分離されています。参加費には大会講演予稿集費が含まれます。
- ・参加費（予稿集費含む、消費税込）は以下の表の通りです。

参加費		
種別	前納	当日
会員	5,000円	6,000円
非会員	9,000円	10,000円

- ・投稿料（消費税込）は以下の表の通りです。

投稿料		
種別	1件	2件
投稿料A	6,500円	11,500円
投稿料B	3,000円	6,000円

- ・投稿料の種別：
 - 投稿料A：研究機関・大学に所属する講演者（ただし、学部生・院生は除く）
 - 投稿料B：投稿料Aに該当しない講演者による投稿
- ・投稿料Aの2件目の投稿料は5,000円に割引されます。
- ・気象学会会員でない方の講演発表については、「VI. 非会員、団体会員の大会講演について」を参照し

て下さい。

3.2 懇親会費

- 懇親会費（消費税込）は以下の表の通りです。世代を問わず多くの方々に参加していただき交流を深めたいと思います。

懇親会費		
種別	前納早割	前納通常
	3月31日まで	4月1日 ～5月15日
一般	5,500円	6,000円
学生	4,000円	4,000円

- 懇親会費はオンラインもしくは郵便振替で参加費

と同時に前納をお願いします。申込者数が定員に達した際には、申込を締め切りますのでご注意ください。なお料金は、前納の申込期間で異なりますのでご注意ください。

3.3 その他

- 一旦支払われた参加費・投稿料・懇親会費は返却いたしません。
- 参加費・投稿料・懇親会費の種別は、支払い時点での所属によって判断して下さい。一旦支払われたあとの所属変更などによる種別の変更はいたしません（追加の支払い請求や差額の払い戻しなどは行いません）。

Ⅲ. 大会予稿原稿作成要領

1. 原稿サイズ・枚数

1件あたり A4判 1枚とします。

2. 作成方法

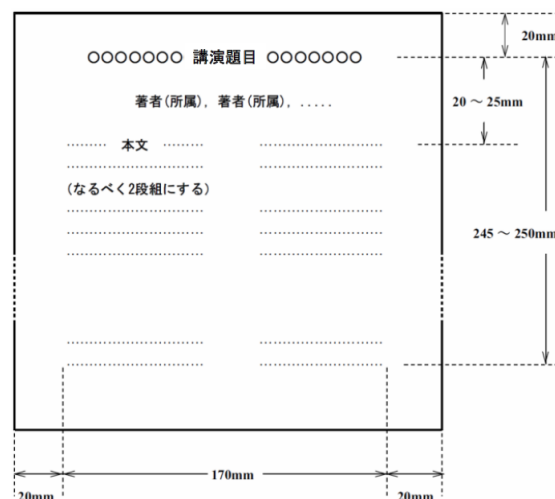
ファイル形式は PDF（容量の上限は 1 MB）とします。階調のある写真や図は、明瞭度が落ちる場合がありますので作成時にはご注意ください。特に、カラーの写真や図は明瞭度が極端に落ちる場合がありますので、予めご承知おき下さい。

3. 配置（付図参照）

記載範囲は縦 250mm×横 170mm 以内とし、上部には 20mm の余白をとって下さい。最上段に講演題目、その下に著者と所属を書き、本文をその下につけて下さい。著者が複数の場合には講演者の左肩に＊をつけて下さい。講演題目から本文までの間隔は 20～25mm として下さい。本文は原則として 2 段組（左半分→右半分）にして下さい。

4. 著作権

予稿集に掲載された文章および図表の著作権は（公社）日本気象学会に帰属します。



図：A4判用紙による大会予稿原稿の作成要領

Ⅳ. 研究発表要領

1. 発表の種類

講演方法には、口頭発表（専門分科会を含む）とポスター発表の 2 種類があります。

2. 発表件数の制限

1講演者あたりの発表件数は 2 件以内とします。

ただし内容がほぼ同一と見なされるテーマでの 2 件の発表は認められません。この制限に抵触する申込があった場合には、講演企画委員会が適切に対応します。また、2 件の口頭発表を申し込まれた場合、希望通りのセッションに組み込むことが出来ない場合があることをご了承ください。

3. 講演方法の選択について

講演方法（口頭／ポスター）につきましては講演申込時に選択できますが、申込件数や会場の都合等により希望通りにならない場合があることを予めご了承ください。なお、講演申込時に講演方法の希望がない場合は、講演企画委員会の裁量で振り分けを行います。

4. 口頭発表の概要

口頭発表の講演時間は全て同一とします。1 件あたりの講演時間は、口頭発表に配分された時間の総計を申込件数で割ったものを目安として講演企画委員会が決定し、大会プログラムに掲載します。

5. 専門分科会の概要

- ・専門分科会の各講演の講演時間は世話人が決定し、大会プログラムに掲載します。
- ・専門分科会への講演申込締切日は一般講演と同じ（オンライン申込は 2 月 4 日（火）、電子メール申込は 1 月 28 日（火））です。
- ・専門分科会に申込まれた発表については、世話人が大会予稿原稿を審査して、専門分科会での発表を認めるかどうかを判断します。
- ・専門分科会に申込まれた発表が、世話人によって専門分科会に適さないと判断された場合には、講演者が気象学会会員の場合は、一般発表に振り替えます。講演者が非会員の場合は、大会予稿は不採択となり、参加費・投稿料が返却されます（VI. 非会員、団体会員の大会講演について）。
- ・各専門分科会の詳細につきましては、「V. 専門分科会のテーマと趣旨」をご参照下さい。

6. ポスター発表の概要

- ・ポスター発表の時間は 1 時間程度とします。ポスター発表の時間には他の行事は行われません。
- ・ポスターの掲示・撤去は、講演者の責任で行って

頂きます。

- ・掲示スペースは、高さ 150 cm×幅 180cm とします。画鋏を準備します（マグネット不可）。なお、ポスターは大きな紙 1 枚に書く必要はなく、小さい紙に分けて書いたものを当日並べて掲示しても構いません。

7. 講演における機器の使用について

- ・口頭発表（専門分科会を含む）につきましては、PC プロジェクターが使用できます。それ以外の機器は使用できません。
- ・PC プロジェクターを使用する場合は、以下の点に留意して下さい。
 - －パソコンは各自でご準備下さい。会場にはプロジェクターのほか、VGA ケーブル及び HDMI-VGA 変換アダプタを準備します。VGA（ミニ D-sub15 ピン）、あるいは HDMI（フルサイズ）コネクタを装備した PC を準備ください。
 - －セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。接続に不安がある場合は、その際に会場係に申し出て下さい。
 - －突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応をすることがあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようお願いいたします。
- ・ポスター発表で機器を使用される場合は、講演申込時に機器の概要（大きさや使用方法など）をお知らせください。ただし、会場には AC 電源を準備しません。また会場のスペースの都合上、ご希望に添えないことがあることをご了承ください。口頭発表への申込をする場合も、プログラム編成上の都合によりポスター発表に振替えられた時に、機器を使用する可能性があれば同様に届け出てください。

8. その他

- ・大会プログラムは大会ウェブサイトに掲載されます。
- ・口頭発表セッションにおける座長は、テーマごとに発表者の中から選ばれることが多くなっています。

す。講演企画委員会が、座長候補者を選び、候補者へはその承諾に関する打診を行いますので、そ

の際にはご協力願います。

V. 専門分科会のテーマと趣旨

2020 年度春季大会では下記の通り、3 件の専門分科会が開かれます。

1. 「高性能スーパーコンピュータを用いた最新の気象科学の進展と展望」

趣旨：気象学を含む多くの分野で、「京」コンピュータ等の高性能スーパーコンピュータを用いてシミュレーション研究が行われている。高性能スーパーコンピュータの登場は、より高解像度の再現・予測実験、より多メンバーのアンサンブル予測、観測ビッグデータを用いたデータ同化などを通じて、大気科学を大きく進展させてきた。「京」の後継機であるスーパーコンピュータ「富岳」も再来年度から稼働が予定されており、これに向けた研究もスタートしている。本専門分科会「高性能スーパーコンピュータを用いた最新の気象科学の進展と展望」では、気象・気候・環境科学等の最先端のシミュレーション研究をテーマとし、高性能スーパーコンピュータを用いたこれまでの成果や次に取り組みたい研究、将来のモデル開発計画(夢を含む)、などを幅広く議論することを通じて気象・気候シミュレーション研究の将来像を学会員と共有したい。

世話人：高橋桂子(海洋研究開発機構)、佐藤正樹(東京大学)、滝川雅之(海洋研究開発機構)、瀬古弘(気象研究所)、小玉知央(海洋研究開発機構)、川畑拓矢(気象研究所)、宮川知己(東京大学)、中野満寿男(海洋研究開発機構)、八代尚(環境研究所)

2. 「気象分野における途上国支援・協力の現状と今後の展望」

趣旨：国際協力機構(JICA)はアジアを中心として気象分野の技術協力プロジェクトや無償資金協力によって途上国支援を進めており、対象を大洋州やアフリカに広げている。気象庁は途上国気象局を対象とする JICA 集団研修を 1973 年から、また世

界気象機関(WMO)の枠組みで気候情報、熱帯低気圧、気象観測・予報の研修やワークショップを開催している。大学や研究機関は科学技術振興機構(JST)、日本学術振興会(JSPS)、地球規模課題対応国際科学技術プログラム(SATREPS)などによる研究協力プログラム、留学生の受入れ等を通じて途上国の研究・教育の発展に貢献している。

本専門分科会では招待講演も含め、これまで各分野が個別に実施してきた途上国への支援・協力を振り返り、現状の問題点や課題を整理し、より効果的な支援・協力のあり方、機関間の情報交換や人的交流による連携強化の道を模索する。

世話人：赤津邦夫(国際協力機構)、石原正仁(気象解析システム)、菅野能明(気象庁)、余田成男(京都大学)

3. 「IoT」の発展は気象学にイノベーションをもたらすのか？」

趣旨：今日では“IoT”(Internet of Things)という言葉が頻繁に使われるようになった。ここ数年の通信・センシング技術の発展は著しく、スマートフォンやそれにつながるウェアラブルデバイスの利用により、ビッグデータかつ高品質な気象情報の蓄積が進んでいる。さらには、日常生活における時空間で詳細な気象データも取得可能となってきた。このように、生活空間における様々な環境情報がリアルタイムで取得できることは、気象学分野においてもイノベーションをもたらす可能性を秘めている。この研究ステージを一つ上に進めるためには、“IoT”に関する新技術を気象学分野に取り込み、有効に活用しなければならない。そこで本専門分科会において、気象学のなかでの広義の意味で“IoT”に関連する取り組みについて講演を募り、気象観測から最新のモデリング手法までの理解を深め、現状と今後の展望について語る場にした。

世話人：重田祥範(公立鳥取環境大学 環境学部)、

吉田聡（京都大学 防災研究所 白浜海象観測所），
野津雅人（首都大学東京 都市環境学部），渡来靖
（立正大学 地球環境科学部），大橋唯太（岡山理

科大学 生物地球学部）

VI. 非会員，団体会員の大会講演について

気象学会会員でない方は原則として大会講演を行うことは出来ません。しかしながら，短期滞在の外国人や他分野の研究者が気象学会において講演を行う場合を考慮して，講演企画委員会では専門分科会に申込みれた講演が世話人により採用された場合に限り，非会員の講演を認めることとします。非会員が専門分科会に申し込んだ講演が採用されなかった場合は，大会予稿は不採択となり，参加費・投稿料が返却されます（講演者が気象学会会員の場合は，専門分科会で不採用になったとき，世話人と講演企

画委員会の判断により一般口頭もしくはポスター発表への振替が行われます）。講演企画委員会としては，大会での講演発表を希望される方には，気象学会会員になって頂くよう強く要請します。

団体会員が団体名での講演申込を行った場合，個人会員と同等の扱いとなり，2件以内まで講演を行うことができます。ただし，団体の構成員である個人の講演申込は認めておりませんのでご注意ください。

VII. 研究会活動への支援について

大会期間中またはその直前・直後に会員が自主的に運営する研究会活動（一般の会員が自由に参加できるもの）に対し，支援を希望する方は，次の事項を明記の上，講演企画委員会（E-mail: kouenkikaku2020s@mri-jma.go.jp）へご連絡下さい。

申込期限：2020年2月4日（火）

- 記入事項：1. 会の名称とテーマ
2. 代表者の連絡先
3. 希望日時・開催場所
4. 予想参加人数
5. 希望する支援内容

VIII. 大会期間中の保育支援について

大会期間中の会場近隣の保育施設として，次の施設を紹介します。

キラキラルーム川崎園

〒210-0023 神奈川県川崎市川崎区小川町 12-11

Tel: 044-211-4221

Fax: 044-223-7143

<http://www.kirakiraroom.ed.jp/>

保育対象年齢は，生後3ヶ月から6歳児までです。

上記は情報提供のみであり，保育施設への申込みは直接利用者個人で行ってください。補助の申請は事前に気象学会事務局へお願いします。

また，学会からの保育補助は下記の保育支援ガイドラインに則ります。

http://jinzai.metsoc.jp/files/childcare_support_guideline.pdf

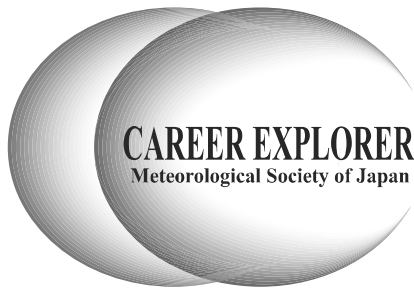
Ⅷ. キャリアエクスプローラーロゴについて

1. キャリアエクスプローラーロゴの趣旨

近年、社会問題化している若手・任期付研究者のキャリア形成をサポートするために、日本気象学会では、キャリアエクスプローラーロゴの利用を勧めています。これは、広く学術に貢献する人材の育成および活動支援の一貫として行うもので、会員が望ましいキャリア形成のために求職中の場合に、適職に出会うのをサポートします。

2. キャリアエクスプローラーロゴ

大会予稿や講演資料の中でこれを表示することで自分が求職中であることを表明できます。カラーと白黒のロゴの電子データを学会ホームページから取得できます。



3. 使用方法

ポスドクを含む任期付研究者や学生で求職中の会員、またはそれに準ずる会員が講演する場合に、大会予稿および講演資料の中で、キャリアエクスプロ

ーラーロゴを使用できます。

1. 大会予稿：白黒ロゴを、講演題目の左側に、余白にはみ出さないよう適度な大きさと挿入してください。
2. 口頭発表：発表資料の任意の場所に分かりやすく表示してください。
3. ポスター発表：講演題目付近の分かりやすい場所に表示してください。

4. 使用に関する注意

1. 日本気象学会およびその会員の主催する講演会においてのみ使用できます。
2. 講演会は学術的な講演・議論を目的に行われます。口頭発表の時間内は、求職・求人に関する議論はご遠慮ください。
3. ロゴは講演者本人の責任の下で使用してください。その使用により生じた如何なる利益・不利益に対しても、日本気象学会は一切責任を負いません。
4. ロゴ導入の趣旨および適切な使用方法を逸脱した使用は一切認められません。

Ⅹ. リクルートブースの設置について

日本気象学会では、気象学会に所属する大学院生や有期雇用の若手研究者のキャリア形成をサポートするため、企業の就職担当者と就職を希望する参加者が直接情報交換する場として、大会会場内にリク

ルートブースを設置する予定です。参加企業名およびブース開設期間など詳細については大会プログラムとともにお知らせする予定です。なお、ブース訪問希望者の予約等の手続きは不要です。

Ⅺ. 大会実行委員会からのお知らせ

(大会参加票・領収証等の事前送付について)

本大会では、前納受付者には事前に大会参加票、領収証および大会案内冊子等を送付します。前納受

付者は大会参加票を持参のうえ、そのまま会場へお越しください。会場での受付は不要です。

参加票等を事前に送付するため、確実に受け取る

ことができる住所の登録をお願いします。事前申込後、異動や移転などで住所が変更になった場合には早めにお知らせください。

前納受付者で大会参加票を破損・紛失した方、参加票が届かなかった方は、当日受付で再発行の手続きをとってください。この際、事前納付したことを確認できる領収証あるいはオンライン決済の通知メール、金融機関の払込票等を提示ください。

(当日の参加申し込みについて)

当日会場にて参加申込をされる方は受付までお越しください。参加費は現金でお支払いください(カード不可)。

(懇親会の当日申込について)

本大会の懇親会は、従来とは異なり、前納受付のみになります。当日受付はございませんので、ご注

意下さい。

(懇親会会場への移動について)

懇親会参加者の大会会場と懇親会会場との往復は、全員貸切バスにご乗車頂けます。申込者数が定員に達した際には、申込を締め切ります。

(電子版予稿集について)

前納受付者には、参加票・領収書等と合わせて「講演予稿集ダウンロード用パスワード」を事前送付しますので、あらかじめダウンロードしてからお越しください。施設 1F の総合受付周辺の限られたエリアのみ「かわさき WiFi」が使えますが、会場には WiFi サービスはありません。

当日参加申込予定の方は、受付にてダウンロード用パスワードをお知らせするか、電子ファイルをお渡しします。

XII. 大会講演予稿集と大会参加費の見直しについて

2019 年度春季大会より大会講演予稿集の配布方法ならびに大会参加費を見直しました。予稿集については、製本版に代わり、参加者全員に電子版予稿集をダウンロード配布します。詳しくは気象学会ホー

ム ペ ー ジ に 掲 載 し て い ま す
(https://www.metsoc.jp/default/wp-content/uploads/2018/12/Abstractbook_submissionfee_charge-revision.pdf).

公益社団法人 日本気象学会 大会発表規程

(公社) 日本気象学会 講演企画委員会

1. 大会の趣旨

- 1.1 日本気象学会は、気象学の研究を盛んにし、その進歩をはかり、学術文化の発達に寄与するために、気象学会大会を春季と秋季の年二回開催し、気象に関する研究会および講演会を行う。

2. 大会参加登録

- 2.1 大会において口頭発表またはポスター発表を行う者（招待講演者も含む）は、あらかじめ大会 WEB サイトを通じて個人情報登録ならびに大会参加登録・参加費決済を行うこと。
- 2.2 大会で講演（口頭発表及びポスター発表）を行うためには、招待講演者の場合を除き、大会予稿を投稿し、講演企画委員会（以下、「委員会」という。）により採択される必要がある。
- 2.3 個人情報登録と大会参加登録は本人が行うこと。連絡先は本人に必ず連絡が取れる所とし、代理人の連絡先は認めない。事情に応じて事務局から問い合わせを行うことがある。ただし国外からの参加登録、外来研究者による参加登録、インターネットを利用できないなど、本人による登録がやむを得ず困難な場合には、代理人による登録ができる。

3. 大会予稿の作成

- 3.1 大会予稿の形式等に関しては、大会告示案内（大会 WEB サイトに掲載）に従うこと。

4. 著作権の委譲

- 4.1 本予稿原稿の著作権は、日本気象学会常任理事会決定「気象学会の刊行物の著作権委譲の強化について（2013年1月29日付け）」にもとづき、気象学会に委譲するものとする。

5. 大会予稿の投稿

- 5.1 大会予稿の投稿は、発表者が指定された期日までに行うこと。投稿に際しては、共著者の了承を得るとともに、全ての著者のサインを記載した著作権委譲承諾書を提出すること。国外からの投

稿、外来研究者による投稿など、発表者による投稿がやむを得ず困難な場合には、代理人による投稿ができる。なお、発表者の承諾を得ずに代理投稿された場合には、それを受理しない。

- 5.2 同一発表者による発表可能件数は、最大二件までとする（招待講演もカウントする）。

6. 審査

- 6.1 委員会は、審査により、大会予稿の採択または不採択を決定する。大会予稿の採択または不採択は、委員会の裁量に委ねられ、以下に示す例のように、大会予稿の内容が気象学会大会発表として不適切だと委員会が判断した場合には、不採択とすることが出来る。

- (1) 発表内容が他人の研究成果の剽窃と判断される場合、
- (2) 大会予稿が定められた体裁から著しく逸脱すると判断される場合、
- (3) 発表内容が社会倫理上、不適切と判断される場合、
- (4) 発表内容が特定の個人ないし団体を誹謗中傷するものと判断される場合、
- (5) 大会の趣旨を逸脱した目的のために投稿がなされたと判断される場合、
- (6) その他大会の趣旨に鑑み、発表内容が不適切であると判断される場合

- 6.2 発表形態（口頭発表またはポスター発表）は、発表者の希望を考慮し、委員会が決定する。

- 6.3 大会予稿が不採択となった場合には、委員会から投稿者に対して理由を附して通知する。この場合、大会参加料（または参加種別による差額）は返却する。

- 6.4 不採択の理由を不服とする場合には、発表者本人が一回に限り再審査を申し立てることができる。

7. 再審査

- 7.1 再審査の申し立ては、申し立て者の氏名・連絡先、講演題目、著者、および再審査申し立ての

理由を記載した再審査申立書（様式は任意）を、委員会事務局宛に提出すること。

7.2 再審査申立書の提出は郵送で行い、不採択の通知を受けた日を含む七日間のうちに必着のこと。

7.3 再審査申し立てに際して、大会予稿の変更は認められない。再審査は委員会が行い、結果（採択・不採択）を申し立て者に通知する。

8. 採択後の変更・キャンセル

8.1 採択後に講演内容（講演題目、大会予稿）や発表形態を変更することは認めない。

8.2 病気等やむを得ない事情で発表をキャンセルする場合は、速やかに委員会事務局に連絡すること。発表がキャンセルとなった場合には、大会参加料は返却しない。